



犬山ロータリークラブ

INUYAMA R.C.

Rotary 第2760地区
犬山ロータリークラブ

■会長：原 正 男
■幹事：安 田 一 生
■公共イメージ向上副委員長
：関 矢 正 己

事務所／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部内
電 話／0568-61-5219 F A X／0568-61-5523
U R L／http://www.inuyama-rc.org/ e-mail／info@inuyama-rc.org
例会会場／〒484-0061 犬山市大字前原字橋爪山 1-4 犬山カンツリー倶楽部
電 話／0568-61.2281 毎週火曜日／12：30～13：30

第2917回 例 会 (R 5 . 5 . 2 3 火 雨/曇り ☔)

点 鐘 原 正男会長
R . S それでこそロータリー 四つのテスト
幹事報告 安田 一生幹事

※5月メーキャップ不要

☆第19回理事会&第5回クラブアッセンブリー＝
日時：6月13日(火) 18：00～
場所：ホテルミュースタイル犬山 エクスぺリエンス
※役員・理事・委員長の皆さんに本日ご案内配布

出席報告(保浦博志委員)
出席率 100% 会員 48名 (*出席率は紙面での報告のみ)

ニコボックス(保浦博志委員)
原 正男君 先週に引き続き地区研修・協議会の報告
を楽しみにしております。本日は宜しく
お願い致します。
奥村正幸君 在籍 36年を喜んで！

祝 福(真野健二委員長)
おめでとうございます！！
会員誕生日 岡田 雅隆君 5月27日
会員誕生日 下平 征司君 6月4日
在 籍 36年 奥村 正幸君 5月31日
結婚記念日
小川宏嗣君夫人 公子様 5月26日(御夫人誕生日 6/17)

会 長 挨拶 (原 正男会長)



皆さん こんにちは。
今日は健康についてお話をさせていただきます。若い方はまだ関心がありませんが、この歳になると同級生が集まれば病気と年金、入院、薬の話が多くなり、そういう話に身を乗り出し真剣に聞き入ってしまいます。犬山 RC の中でも岡田バスト会長、稲垣次年度会長も心配しておりますのでどうぞお身体いたわってください。

代謝を上げるのは健康への近道です。夜寝る前にフーフーするくらいの白湯をコップ一杯飲むと副交感神経が活性化して熟睡でき便秘も改善するといった結果が出ています。朝一のトイレでオシッコが普段より黄色いのは軽く脱水している証拠です。血液を含む体液の濃度を一定に保つことで体外に排泄される成分が増えおしっこが濃くなってしまうので朝は白湯より冷たい水を飲んだ方が、体温が下がらないように体内エネルギー代謝が活性化されるそうです。

さて朝食は、和食が良いか洋食が良いのかとよく議論されます。どちらでも食べたいものを食べたらよいかと思います。昨日も NHK の朝ドラの後の番組でたんぱく質が大切でサバや鮭の油が代謝を促す働きがあると言っていました。また、体脂肪を燃やす機能を担う細胞へ転換してくれる役割もあるそうです。

朝食後の一杯を飲むならお茶かコーヒーどちらを選択されますか？コーヒーの方が良いそうです。含有するカフェイン量を比べるとコーヒーの方が多そうです。自律神経の中でも交感神経を優位にしてくれます。ですから和食にブラックコーヒーの組み合わせがベストです。しかし、一般的に和食には緑茶でしょと言われていますので、緑茶を飲むなら少々お高いですが玉露を飲んでください。

最後は、やはり「笑い」でしょうか？皆さん、健康寿命を延ばしましょう。



☆☆ 在 籍 おめでとうございます！ ☆☆



☆☆ 誕生日 おめでとうございます！ ☆☆



その他委員会報告

◎次年度幹事（小川 誠君）

=23-24 年度第3回理事会&第2回クラブアッセンブリー=
 日時：5月23日（火）18：00～
 場所：THE GARDEN（江南市）
 ※送迎バス 17：15 犬山駅西口出発



2023～2024 年度のための地区研修・協議会報告②

（2023-24 年度幹事 小川 誠君）

◎第4分科会

2023-24 年度 ロータリー財団・国際奉仕委員長
 澤田 禪 君（報告：国際奉仕）

テーマ：「プライドを持ってロータリアンのブランド
 で奉仕活動を」～未来に繋がる奉仕活動～



私は、地区研修・協議会第4分科会に出席してまいりました。

「プライドを持ってロータリアンのブランドで奉仕活動を」～未来に繋がる奉仕活動～、というテーマで、地区の各副委員長さん方々より、社会奉仕・環境保全・RCC・国際奉仕について、事例の発表がありました。

まずは、社会奉仕についてです。ここ2～3年コロナ禍ではありましたが、各クラブの活動発表があり、その中でも犬山 RC の河川増水後、堆積した土砂除去の活動が報告されておりました。画面に映し出されていた、水色のジャンパーを着た犬山のメンバーの姿に、誇らしく感じました。そのほか、名古屋市内6ヶ所で子ども食堂が開催された件。下山小学校・川中小学校合同農業体験で田植えを行ったこと。矢作小学校の雅楽演奏。樹木の寄贈・植樹と清掃活動。大須での歴史文化を発信。海の未来を考えるということで海洋プラスチックが魚たちへ与える影響。視聴覚障害者を支える盲導犬を学ぶ講座など、各種報告がありました。こうして地区社会奉仕委員会が情報発信していただき、見聞することにより、これからの自分が所属するクラブで、どんな奉仕活動をしたらよいか、ヒントをいただけました。

続いて、環境保全についてです。佐久島クリーン大作戦と称した海岸沿いの清掃活動が報告されていました。三河湾に浮かぶ島ですが、インターアクト・ローターアクト・ロータリアンが入り混じった形での事業でした。ゴミ袋にいっぱい集められ中には、タイヤなどの粗大ごみ、その他海洋に不法投棄されているものまで回収されて、海の汚れが指摘されました。これらはすべて私たち人間のモラル低下であり、大いに考えさせられたことでもありました。

次に、RCC についてであります。これはロータリークラブの奉仕プログラムと一般の人々が行う奉仕活動とを結びつけ、ともに活動をしていこうとするものですが、現在犬山 RC ではこれらの活動はなされていませんので、時間の都合上、内容を割愛いたします。

最後に、国際奉仕についてです。ラオスでの国際奉仕事業です。10年間に5基の給水塔・簡易水道事業が行われた事例でした。ナーセー村という所に建設された水道事業。こうした簡易水道があれば、蛇口をひねれば、きれいな水が飲め、子どもたちは水汲みから解放されて、学校に行ける、という素晴らしい好循環を生み出すというものです。私たちの毎日の中で、しかも生きていくためにどれほど水が必要か、そして大切なものか、改めて感じたことでした。しかし、私たちロータリアンが奉仕するということも大事であることと同時に、地球のどこかでは貧困に喘いでいる人々がいる事実をみつめ、世界中のみんなが「共生」、ともに生きていくことを思う気持ちを持つことの大切さを考えさせられました。

その他、一宮中央 RC の、カンボジアの小学校に焼却施設を設置したり、周辺道路の整備事業。中学校の建設費用を拠出。教員宿舎の建設、調理場の増設など、継続して支援を行っている事例の発表もありました。

総じていうならば、奉仕の切り口はいろいろあるということです。その時にその地域に、今必要とされていることを、どの分野も共通して言えることですが、臆せずまずは第一歩を踏み出す、ロータリアンの勇気が求められているのだと、感じた分科会でした。



◎第5分科会

2023-24 年度 職業奉仕委員長 岩間 信夫君

テーマ：育もう！「職業奉仕ブランド」
 ～4つのテストで継続的改善～



次年度職業奉仕委員長を仰せつかりました岩間でございます。過日行われました地区研修・協議会第5分科会の報告をさせていただきます。

第5分科会は【育もう！「職業奉仕ブランド」四つのテストで継続的改善】というテーマでした。流れとしては、次期地区役員自己紹介に続き、次期職業奉仕委員会メンバー自己紹介の後、次期地区職業奉仕委員会 鬼頭委員長より四つのテストに照らし合わせた会社案内がパワーポイントを使って発表されました。

内容は、四つのテストの説明があり、社訓に現れる企業スタンス、すべての仕事・職業はすべての人々を幸せにする為にある、経営理念の意味や定義、良い経営理念とは何か、経営理念を浸透させるメリットと重要性の説明がありました。鬼頭次期職業奉仕委員長の

会社の経営理念は私たちリサイクル産業は社員一人ひとりが常に意識の向上を掲げ、自然を愛し、雄大な構想を持ち、お客様の要望に誠意をもって答え、感謝の気持ちを持って活動します。会社方針はお客様第一、安全第一、環境第一、だそうです。

又、四つのテストは職業奉仕だけではなく、全てのロータリーの基本理念であり職業奉仕はロータリーの出発点、ベースです、との言葉の後、次年度は特に四つのテストやロータリーの目的が同じであれば仕事を通じて世の中に奉仕できるはず、地区職業奉仕委員会のメンバーの皆様が会社で行っていることを話し合い親睦を深め、良い点を見つけて各クラブでもご採用いただき、職業を通じて奉仕活動を行ってくださいとのことでした。

最後になりますが、私自身、職業奉仕のことがまだよく理解できておりませんが、次年度委員長を一生懸命務めさせていただきますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。

以上で報告とさせていただきます。

* * * * *

◎第7分科会

2023-24 年度 米山記念奨学会・青少年奉仕委員長

鈴木 敏之君 (報告：青少年奉仕)

(代読：委員 鈴木 一成君)

テーマ：「プライドを持ってリーダーを育てよう」

～青少年の未来へ～



[テーマ]

「プライドを持ってリーダーを育てよう」

～青少年の未来へ～

●開会の挨拶 次期地区幹事 神谷氏の挨拶

●リーダー挨拶

次期地区ロータリー奉仕委員長 長瀬氏

●アシストリーダー挨拶

次期ロータリー奉仕副委員長 佐藤氏の挨拶が終わり、

●インターアクトについて

次期地区インターアクト委員長 大塩氏

●ローターアクトについて

次期ローターアクト委員長 山田氏

●RYLA(ライラ)について 次期 RYLA 委員長 田中氏

●青少年交換について 次期地区青年委員長 加藤氏

●学友会について 次期地区学友委員長 金山氏

●質疑応答

●まとめ・講評 次期がバナー補佐 則竹氏

●閉会の挨拶 次期分区幹事 桑原氏

上記の次第に沿って進められました。

インターアクトについて

奉仕と国際理解に貢献する為のロータリークラブの資本を受けて設立、青少年の為の団体で、中学高校在学中の生徒、または年齢 12 歳から 18 歳までの青少年が入会できる事になっている。インターアクトの名称の語源はインターナショナルアクションということで、インターナショナルとアクションを合わせた名称になっている。友達と一緒に楽しみながら調和の方針を学び、行動力を身につけます。世界には 34 万人在籍。

2760 地区には現在 19 のインターアクトクラブがあり、400 名強のインターアクターが所属。目標は 8 つあり、建設的指導力を身につけよう、他人に対して思いやりを持とう、家庭を大切にしよう、他人の権利を尊重しよう、各人が地域に率先して奉仕活動しよう、全ての職業は社会に奉仕する機会であることを認識しよう、地域社会国家及び世界情勢の理解のために学習しよう、世界の人々に対する親善を深めるため国際理解に努めよう。ということです。2 つのプロジェクトを行っていて、社会奉仕プロジェクトと国際理解と親善を推進するプロジェクトです。代表例として海外派遣研修がある。コロナ禍の 3 年で思うような活動が出来なかったが、新しい試みでボランティア活動をしてきたが、アフターコロナでは今まで通りの活動もしていくということです。

ローターアクトについて

50 年以上の歴史があり、2760 地区には 10 クラブ存在している。来期のテーマは『リメイク』を挙げ活動していく。自立した活動をしていく。大きく変わり、青少年プログラムから外れ、RI の加盟クラブの一つになる。今後知って頂くためにローターアクトの例会・事業に参加して欲しい。

RYLA について

ロータリーユースリーダーシップアワーズの頭文字を取ったもの、ロータリー青少年指導者養成プログラムという意味になります。RYLA とは、リーダーシップを発揮したい、自分の可能性を広げたい、世界を変えたい等の考えを実現するための第一歩となるのが RYLA です。若い人達が新しく友人を作りながらリーダーシップのスキルを磨いていく事を目的としている。コミュニケーションや問題解決のスキルを磨く、学校や地域で活躍するリーダーを発掘する等です。RYLA 委員会の役割ですが、若い人々が考える環境を提供する事。未来のために種を蒔くこと。

青少年交換について

日本からの派遣生には決まりがあり、日本の国籍を有し出発の年齢が 16 歳～18 歳未満で国際親善大使に相応しい方。募集期間は中学 3 年生から。青少年を通じて世界を平和にしていきます。国境を超えた友情を育み、友情と絆を結ぶために活動している。年間 9,000 人 100 カ国が参加している。青少年交換が出来ること、自分で考え率先して行動する力を育む、異文化や外国語と触れる、海外の人達と交流し仲間を増やす、世界中であった人達と永続的な友情を築く、グローバルな視点が持てる、生涯にわたるリーダーシップを養う。クラブ間交換となり、日本のファンを増やす活動をして頂く。ホストクラブ要請に対して一旦保留にして前向きに受け入れて欲しいとのことでした。

学友会について

学友とは上記の活動に参加した事がある方が、地区内の学友が集まれる場所を作る、地域の貢献したいリーダーの育成、いろいろなプログラムが終わり何か思うことが出来たときに人が集まれば問題解決出来るのではないかという会、プログラム経験者との親睦活動等です。地区の学友の未経験のプログラム参加を促す事が目的です。

感想としては参加してみて、事細かに其れ其れの目的が分かれていてロータリークラブが奉仕の精神で成り立っていることがはっきり分かり、今後のロータリアンとしての活動に役立てていきたいと思います。次世代を担う若手の発掘、育成に重要な委員会に入れて頂き感謝致します。

以上になります。ありがとうございました。

* * * * *

◎第1分科会

2023-24 年度 会長 稲垣 圭次君

テーマ：培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！！



皆さんこんにちは。私が参加しました第1分科会は、「培おうプライド、育もうブランド、そして未来へ！！」ということで、酒井次期ガバナーがテーマとするものを5つ、5人の方が発表されました。

まずは酒井次期ガバナーがプライドとブランドとはについて発表されました。それから RFF、それは今のワールドフードフェスタが来年からロータリーフードフェスタにお名前が変わるということに説明がありました。それからロータリーの危機管理について、それから防災対策について、それから会員増強についてということで5つのテーマで発表されました。

一番大事な酒井次期ガバナーのを中心にして報告をしたいと思います。酒井次期ガバナーは実を言いますと今プロフィールを見ていると、明治大学出身で昭和32年生まれ。岡田バスト会長と同じ生まれで同じ大学ではないかと思ひます。ラグビーが好きなのか不明でございます。1998年に入会をされて40歳の時に入会され25年在籍されてガバナーになられるということでございます。入会当時、自分も社会から認められて、入会が出来たことについて凄い誇りを持たれたそうであります。毎週木曜日の豊田ロータリークラブの例会に出ることは、何の抵抗もなくそれが1週間の流れの中の一部になって、ロータリーの活動を楽しんでいらっしゃるようでございます。当然ここにおみえになります会員の皆様は入会された動機やきっかけは様々皆様であろうかと思ひますけれども、その辺りも含めてガバナーが言われるプライドとブランドということについて、私がお聞きしたことをお伝えした

いと思ひます。

まずはここにおみえになる方は皆様企業人でございます。それぞれ会社で造っているもの、会社の成り立ちについて皆様がそれぞれプライドをもって会社運営に努めていらっしゃると思ひます。ロータリーの活動もそれと同じような気持ちをもって活動していけば、そのプライドは同じであるという風に酒井次期ガバナーはお話をされました。ロータリーは地域社会存在が必要であると思われる。それぞれの会社の方が、会社が地域社会に必要だということをもって気持ちをもって日頃活動をすればそれがプライドに繋がるんだよということをお聞きしました。続きましてブランドでございます。ブランドについては、皆様ブランドのお好きな方、当然あるかと思ひます。ルイ・ヴィトンにしても服にしても靴にしても僕はあまりブランドに興味は無いですが、ブランドはそれぞれそのマークだとかなんとなかを見ても、この服、車にしてもそれが間違い無いんだよということを示すイメージになっていると言われます。ですからロータリーもブランドをもって、それぞれの会員の皆様がロータリーに入ってもらって、ロータリークラブの存在がそれぞれの間違いが無いものであるということであるということがブランドに繋がるということでございます。そしてその中で活き活きと活躍をすればそれが地域への発信になって会員の拡大が出来てくると思ひますが、そこに来ない理由が会員個々、もしくはクラブに何らかの壁があるんじゃないかなという風に言われております。

ですから、来年は素朴な気持ちで実践をしていく、飾り気の無いもので実践をしていく。1つ1つ皆様の気持ち。やらなければいけないことを続けていく事が犬山のクラブに大切なことであると思ひます。以上私の話です。

先週と今日、担当委員長に発表して頂きましたが、地区研修・協議会の目的はここで聞いてきたことを皆様に発表する。纏めて皆様に発表するということは凄くエネルギーが必要なことで発表されたことは非常にロータリーについて学びが出来たのではないかと僕は思ひます。それをここで聞いて頂く。それが大切なことではないかと思ひます。

僕の発表が一番寂しい気はしますけれども前に発表された方、素晴らしいロータリアンの一歩になっているんじゃないかと思ひます。これで私の発表を終わります。

=本日のお食事=



◆◆◆◆◆ ご報告

○春季米山奨学生学友合同研修会

5月20日(土)9時30分より、春季米山奨学生学友合同研修会がトヨタ産業技術記念館&ノリタケミュージアムにて行われ、米山奨学生 グエン ティ フェン・チャンさんと千田光範カウンセラーが参加されました。